



平成 28 年 10 月 26 日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官 後藤 敬一郎

室長補佐 近藤 敬太 (内線 7473)

室長補佐 巽 恵美子 (内線 7494)

(担当) 出生児縦断統計企画係

平成 13 年出生児 (内線 7474)

平成 22 年出生児 (内線 7566)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2413

第14回21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）及び 第5回21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）の結果

目 次

調査の概要

I 第14回21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）	1 頁
II 第5回21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）	3

結果の概要

【第14回調査（平成13年出生児）】

1 母の就業状況の変化	5
2 家庭での会話の状況	7
3 子どもが思う悩みや不安	8
(1) 悩みや不安の有無	8
(2) 悩みや不安の種類	9
4 子ども自身が考える将来について	10
(1) 進路	10
(2) 結婚	10

【第5回調査（平成22年出生児）】

1 母の就業状況の変化	11
2 父母の喫煙状況	13
3 保育所等の利用状況	14

統計表	15
-----	----

用語の定義	20
-------	----

この結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。

アドレス (<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/>)

調査の概要

I 第14回21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）

1 調査の目的

この調査は、同一客体を長年にわたって追跡する縦断調査として、平成13年度から実施している統計調査であり、21世紀の初年に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策、子どもの健全育成等、厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的としている。

2 調査の対象

全国の平成13年（2001年）1月10日から同月17日の間及び同年7月10日から同月17日の間に出生した子を対象とし、厚生労働省が人口動態調査の出生票を基に調査客体を抽出した。双子、三つ子についてもそれぞれの子を対象としている。

第14回調査における対象児の年齢は14歳（中学2年生）である。

3 調査の時期

1月生まれは平成27年1月18日、7月生まれは平成27年7月18日とした。

（参考：第1回調査から第6回調査の1月生まれは8月1日、7月生まれは2月1日である。）

4 調査事項

保護者…父母の就業状況、子育てに関する意識、喫煙状況、子育て費用等
子ども…家族の状況、親との会話、悩みや不安、将来（進路・結婚等）等

5 調査の方法

調査票の配布及び回収は郵送により行った。

6 調査票の回収状況等

調査票の配布数及び回収数は次のとおりである。

	1月生まれ			7月生まれ			合計		
	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率
第1回	26,620	23,423	88.0%	26,955	23,592	87.5%	53,575	47,015	87.8%
第2回	23,391	21,923	93.7%	23,575	22,002	93.3%	46,966	43,925	93.5%
第3回	23,374	21,365	91.4%	23,523	21,447	91.2%	46,897	42,812	91.3%
第4回	22,439	20,699	92.2%	22,398	20,860	93.1%	44,837	41,559	92.7%
第5回	21,735	19,824	91.2%	21,824	19,993	91.6%	43,559	39,817	91.4%
第6回	21,020	19,154	91.1%	21,167	19,383	91.6%	42,187	38,537	91.3%
第7回	20,182	18,304	90.7%	20,416	18,481	90.5%	40,598	36,785	90.6%
第8回	19,530	17,978	92.1%	19,731	18,158	92.0%	39,261	36,136	92.0%
第9回	18,865	17,480	92.7%	19,067	17,784	93.3%	37,932	35,264	93.0%
第10回	18,359	17,256	94.0%	18,630	16,868	90.5%	36,989	34,124	92.3%
第11回	17,948	16,426	91.5%	18,111	16,487	91.0%	36,059	32,913	91.3%
第12回	17,529	16,067	91.7%	17,509	15,998	91.4%	35,038	32,065	91.5%
第13回	16,960	15,204	89.6%	16,944	15,127	89.3%	33,904	30,331	89.5%
第14回	16,451	14,780	89.8%	16,392	14,726	89.8%	32,843	29,506	89.8%

7 利用上の注意

- (1) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。
なお、各図表は集計客体が異なるため、脚注にそれぞれ総数を掲載している。
- (2) 調査回における対象児の年齢は以下のとおりである。

調査回	対象児の年齢
第1回調査	月齢6か月
第2回調査	1歳6か月
第3回調査	2歳6か月
第4回調査	3歳6か月
第5回調査	4歳6か月
第6回調査	5歳6か月
第7回調査	7歳（小学1年生）
第8回調査	8歳（小学2年生）
第9回調査	9歳（小学3年生）
第10回調査	10歳（小学4年生）
第11回調査	11歳（小学5年生）
第12回調査	12歳（小学6年生）
第13回調査	13歳（中学1年生）
第14回調査	14歳（中学2年生）

注：第7回調査（7歳）は、第6回調査（5歳6か月）から1年6か月後に実施した。

- (3) 表章記号の規約

計数のない場合	—
比率が微少（0.05未満）の場合	0.0

Ⅱ 第5回 21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）

1 調査の目的

この調査は、同一客体を長年にわたって追跡する縦断調査として、平成22年に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察するとともに、21世紀の初年である平成13年に出生した子を継続的に観察している調査との比較対照等を行うことにより、少子化対策等の施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的としている。

2 調査の対象

全国の平成22年（2010年）5月10日から同月24日の間に出生した子を対象とし、厚生労働省が人口動態調査の出生票を基に調査客体を抽出した。双子、三つ子についてもそれぞれの子を対象としている。

第5回調査における対象児は4歳6か月である。

3 調査の時期

平成26年12月1日とした。

4 調査事項

母の就業状況、ふだんの保育者、保育サービスの利用状況、子どもの朝起きる時間・夜寝る時間、父母の喫煙状況 等

5 調査の方法

調査票の配布及び回収は郵送により行った。

6 調査票の回収状況等

調査票の配布数及び回収数は次のとおりである。

	配布数	回収数	回収率
第1回	43,767	38,554	88.1%
第2回	38,523	33,356	86.6%
第3回	37,582	32,380	86.2%
第4回	34,563	29,582	85.6%
第5回	32,830	28,161	85.8%

7 利用上の注意

- (1) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。
なお、各図表は集計客体が異なるため、脚注にそれぞれ総数を掲載している。
- (2) 調査回における対象児の年齢は以下のとおりである。

調査回	対象児の年齢
第1回調査	月齢6か月
第2回調査	1歳6か月
第3回調査	2歳6か月
第4回調査	3歳6か月
第5回調査	4歳6か月

- (3) 表章記号の規約

統計項目のあり得ない場合	・
--------------	---

- (4) 「出生児縦断調査（平成13年出生児）」と「出生児縦断調査（平成22年出生児）」の結果を比較する際は、それぞれを「平成13年調査」、「平成22年調査」としている。

結果の概要

【第14回調査（平成13年出生児）】

1 母の就業状況の変化

母が有職の割合は年々増加し、第14回調査（中学2年生）では79.3%となっている

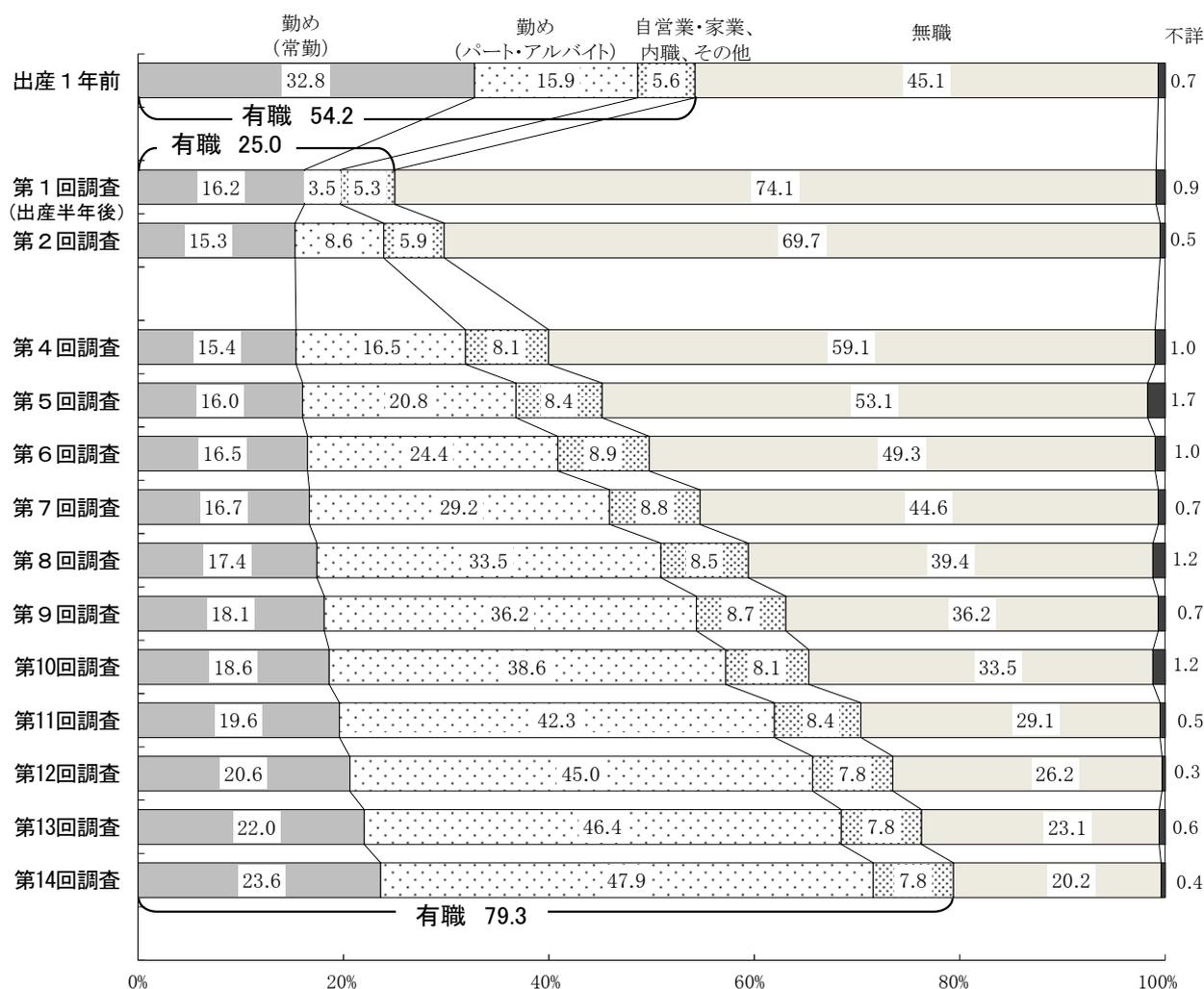
母が有職の割合は、出産1年前の54.2%が、第1回調査（出産半年後）で25.0%に減少したが、その後は年々増加し、第14回調査（中学2年生）では79.3%となっている。

母の就業状況の変化をみると、「勤め（パート・アルバイト）」の割合は、第1回調査（出産半年後）の3.5%から年々増加し、第14回調査では47.9%となっており、「勤め（常勤）」の割合は、第4回調査（15.4%）から徐々に増加し、第14回調査では23.6%となっている。（図1）

また、第13回調査（中学1年生）から第14回調査（中学2年生）の変化をみると、第13回調査で「無職」であった母のうち、25.4%が「有職」となり、その内訳では「勤め（パート・アルバイト）」が最も多くなっている（表1）。

第14回調査の母の就業状況をきょうだい構成別にみると、「有職」の割合は「弟妹のみ」（77.7%）と「兄姉のみ」（82.0%）では、「兄姉のみ」の方が4.3ポイント高くなっている（表2）。

図1 母の就業状況の変化



注: 1) 第1回調査から第14回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者(総数 24,265)を集計。
2) 第3回調査は母の就業状況を調査していない。

表1 第13回調査の母の就業状況別にみた第14回調査の母の就業状況

(単位:%)

第14回調査 (中学2年生)	第13回調査 (中学1年生)	総数 ²⁾	無職	(再掲)		有職	勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業	内職	その他	
				仕事を 探して いる	仕事を 探して いない							
総数 ²⁾		(100.0)	100.0	20.2	5.6	13.9	79.3	23.6	47.9	6.3	1.0	0.6
無職		(23.1)	100.0	74.2	17.2	54.5	25.4	2.2	19.8	2.0	1.0	0.4
(再掲) 仕事を探している		(6.7)	100.0	51.6	34.5	15.7	47.9	5.7	39.2	1.6	1.0	0.4
(再掲) 仕事を探していない		(15.6)	100.0	83.9	10.2	71.6	15.7	0.5	11.7	2.0	1.0	0.4
有職		(76.3)	100.0	3.9	2.1	1.6	95.6	30.0	56.4	7.6	1.0	0.6
勤め(常勤)		(22.0)	100.0	1.7	1.1	0.4	97.8	91.8	4.6	1.0	-	0.3
勤め(パート・アルバイト)		(46.4)	100.0	4.6	2.7	1.7	95.1	5.2	88.7	0.8	0.2	0.2
自営業・家業		(6.1)	100.0	4.8	0.9	3.6	94.7	2.5	6.6	84.2	0.4	1.1
内職		(1.1)	100.0	14.5	5.4	8.0	84.8	1.1	26.1	1.8	54.3	1.4
その他		(0.6)	100.0	11.9	5.9	5.9	85.2	12.6	25.9	5.9	1.5	39.3

注:1)第1回調査から第14回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者(総数 24,265)を集計。

2)総数には、母の就業状況「不詳」を含む。

3) は、就業状況に変化のないものである。

表2 きょうだい構成別にみた母の就業状況【第14回調査】

(単位:%)

母の就業状況	きょうだい構成 ²⁾	総数 ³⁾	無職	有職	勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業	内職	その他
ひとり(対象児本人のみ)	(15.1)	100.0	22.0	77.4	27.4	42.2	6.1	0.9	0.8
弟妹のみ	(37.0)	100.0	21.9	77.7	22.6	47.8	5.7	1.0	0.6
兄姉のみ	(36.9)	100.0	17.5	82.0	24.7	49.5	6.5	0.7	0.5
兄弟姉妹あり	(11.0)	100.0	19.6	80.0	23.2	46.5	8.7	1.1	0.5

注:1)第14回調査の回答を得た者のうち、「母と同居」の者(総数 29,022)を集計。

2)きょうだい構成は、調査対象児と同居している兄弟姉妹の構成をいう。

3)総数には、母の就業状況「不詳」を含む。

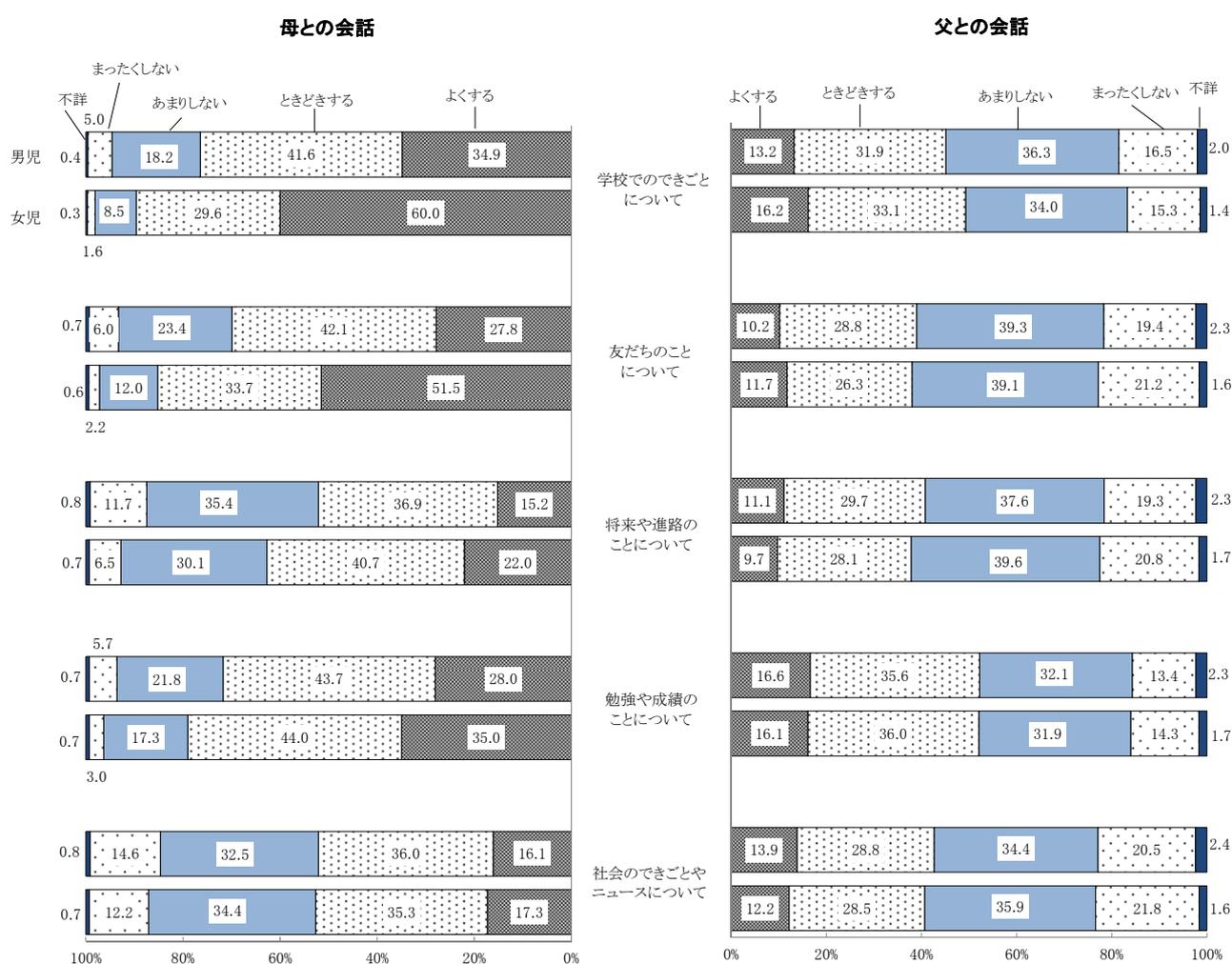
2 家庭での会話の状況

会話を「よくする」と答えた割合は、男児、女児とも会話の内容を問わず、母との会話の方が父との会話より高くなっている

子どもの性別に母、父との会話の状況をみると、会話を「よくする」と答えた割合は、男児、女児とも会話の内容を問わず、母との会話の方が父との会話より高くなっている。

また、会話の内容を子どもの性別にみると、母との会話を「よくする」と答えた割合は、「学校のできごとについて」及び「友だちのことについて」において、男児と女児との間で大きな差がみられる。一方、父との会話の状況をみると、母との会話と比べて、男児と女児の間に大きな差はみられない。(図2)

図2 子どもの性別にみた母、父との会話の状況【第14回調査】



注: 第14回調査の回答を得た者のうち、母・父と同居している者(男児14,922、女児14,100)を集計。

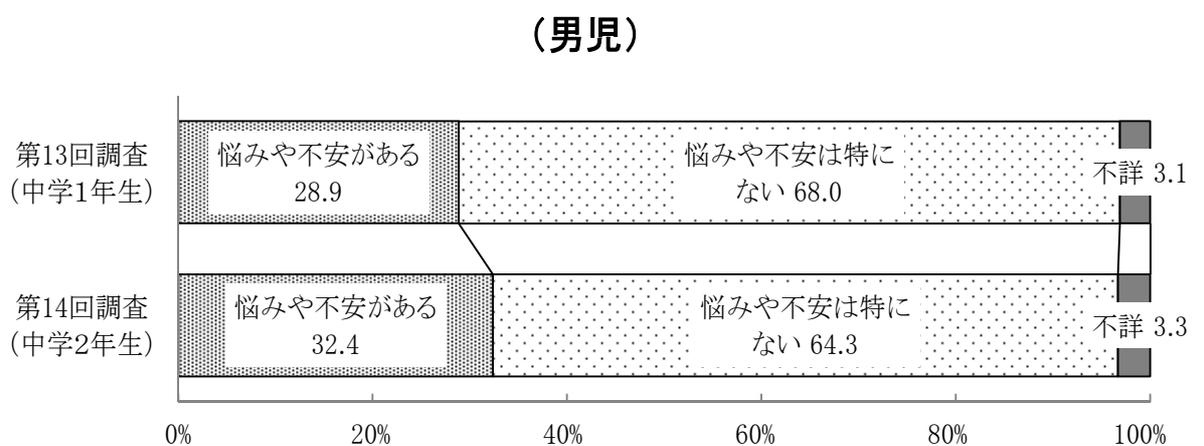
3 子どもが思う悩みや不安

(1) 悩みや不安の有無

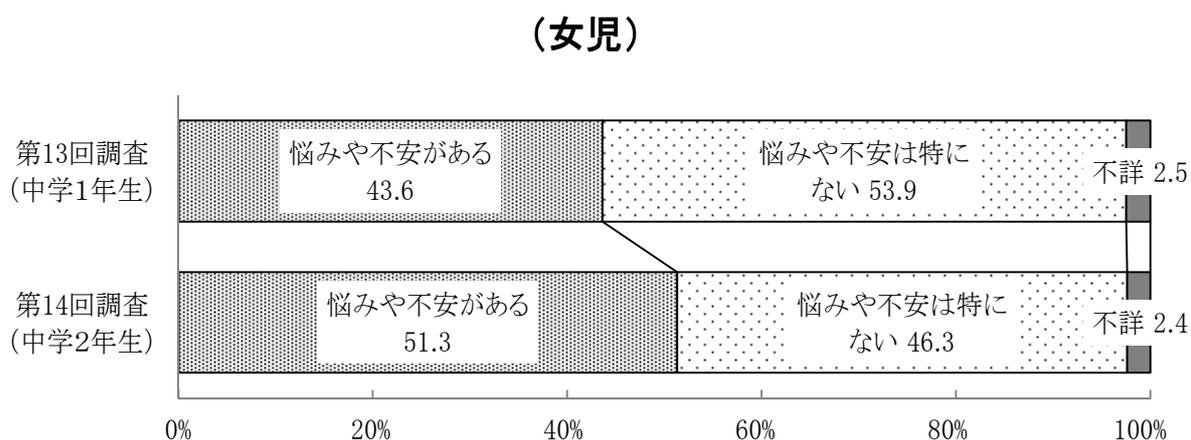
「悩みや不安がある」と答えた女児の割合は、7.7ポイント増加し5割を超えている

子どもが思う悩みや不安の有無について、第13回調査(中学1年生)から第14回調査(中学2年生)の割合の変化を性別にみると、「悩みや不安がある」は、男児は28.9%から3.5ポイント増加し32.4%に、女児は43.6%から7.7ポイント増加し51.3%になり、女児では「悩みや不安がある」と答えた割合が5割を超えている(図3)。

図3 子ども性別にみた子どもが思う悩みや不安の有無の変化



注: 第13回調査と第14回調査の回答を得た男児(総数 14,585)を集計。



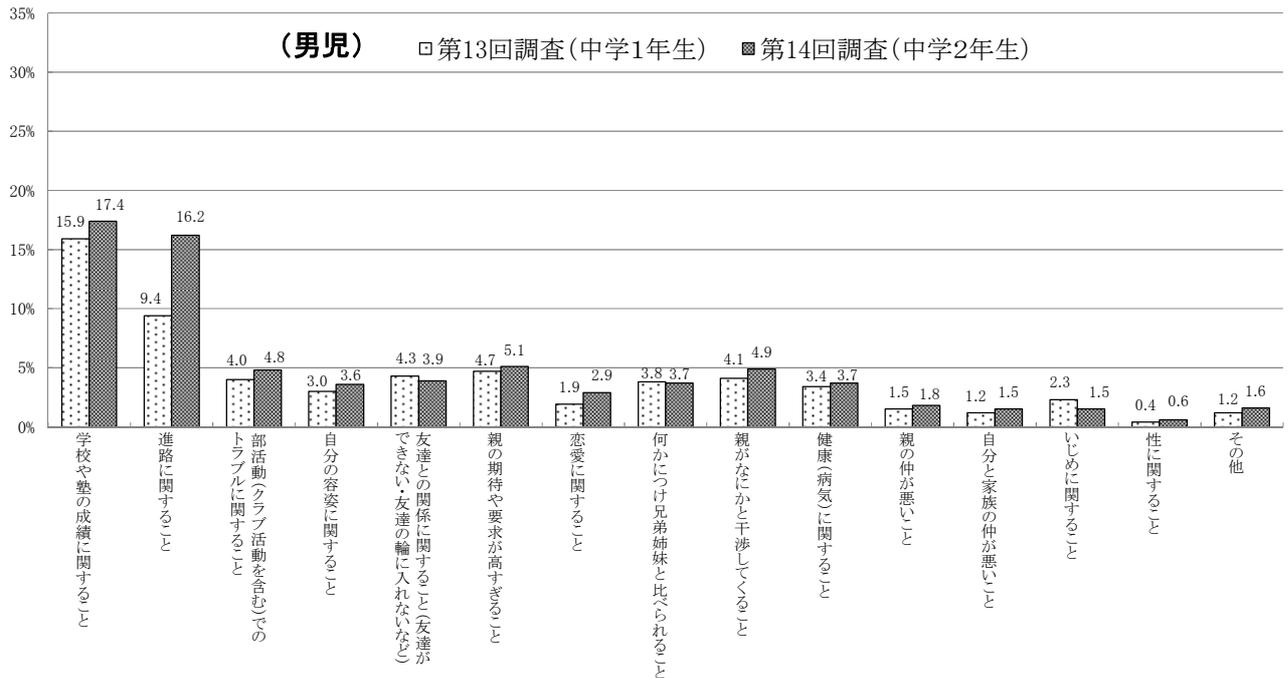
注: 第13回調査と第14回調査の回答を得た女児(総数 13,726)を集計。

(2) 悩みや不安の種類

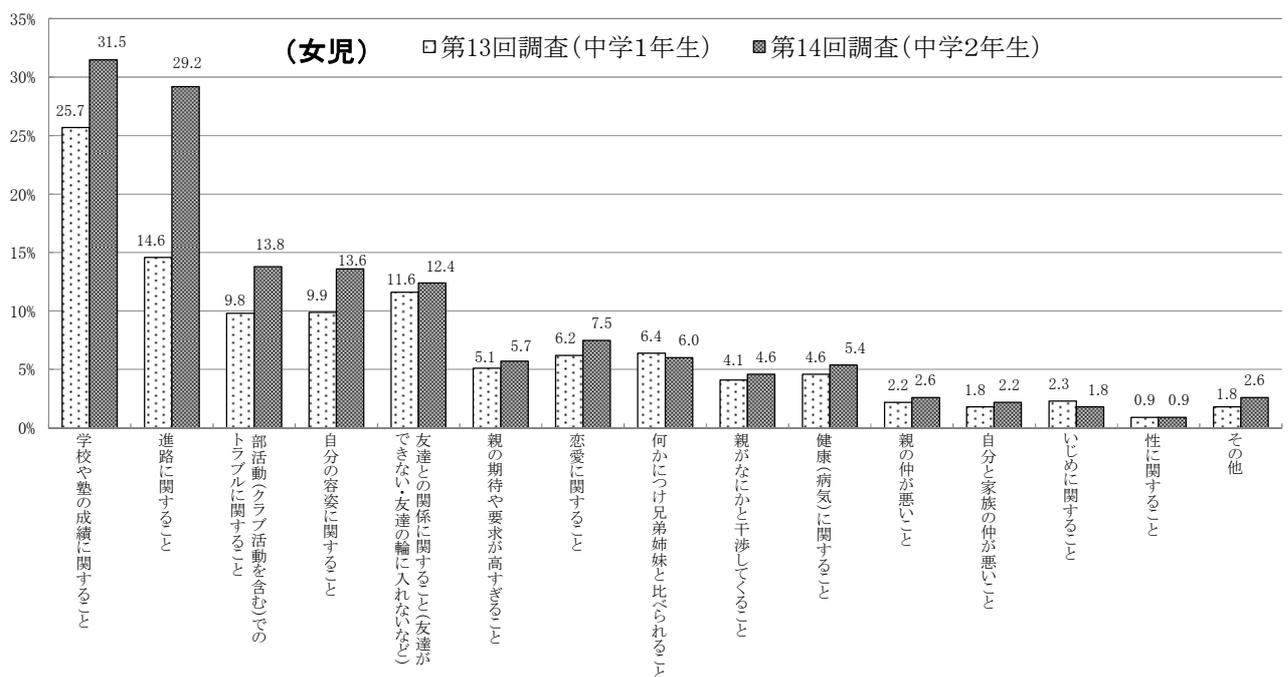
男児、女児とも「進路に関すること」と答えた割合が最も増加している

子どもが思う悩みや不安の種類について、第13回調査(中学1年生)から第14回調査(中学2年生)の割合の変化を性別にみると、男児、女児とも最も変化のあった「進路に関すること」は、男児は9.4%から6.8ポイント増加し16.2%、女児は14.6%から14.6ポイント増加し29.2%となっている(図4)。

図4 子どもの性別にみた子どもが思う悩みや不安の種類の変化(複数回答)



注:第13回調査と第14回調査の回答を得た男児(総数 14,585)を集計。



注:第13回調査と第14回調査の回答を得た女児(総数 13,726)を集計。

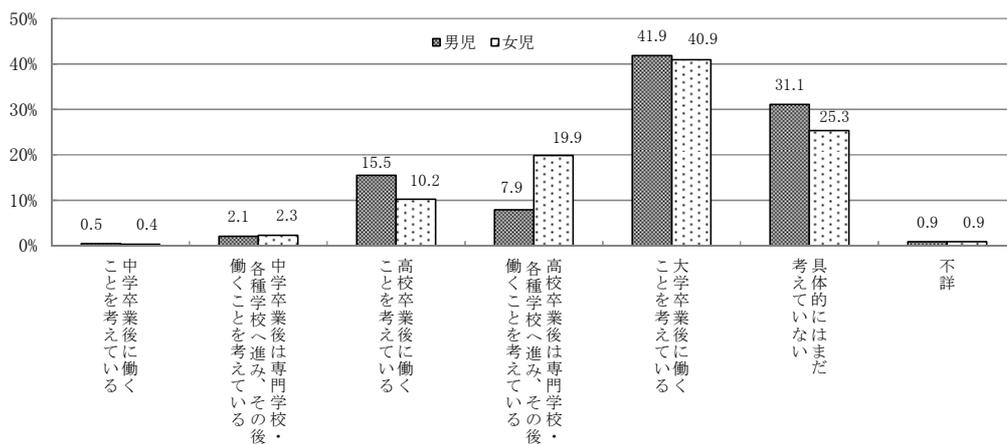
4 子ども自身が考える将来について

(1) 進路

男児、女児とも「大学卒業後に働くことを考えている」の割合が最も高い

子ども自身が考える進路に対する意識を性別にみると、男児、女児とも「大学卒業後に働くことを考えている」が最も高く、次いで「具体的にはまだ考えていない」となっており、以下、男児は「高校卒業後に働くことを考えている」、女児は「高校卒業後は専門学校・各種学校へ進み、その後、働くことを考えている」の順となっている（図5）。

図5 子どもの性別にみた子ども自身が考える進路に対する意識【第14回調査】



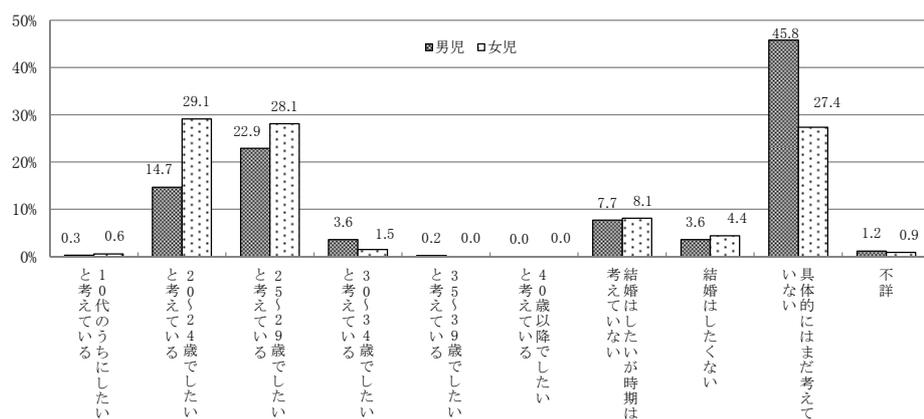
注:第14回調査の回答を得た者(男児15,190、女児14,316)を集計。

(2) 結婚

男児は約半数が結婚を具体的にはまだ考えていないが、女児は約6割が20代で結婚したいと考えている

子ども自身が考える結婚に対する意識を性別にみると、男児は「具体的にはまだ考えていない」が45.8%と最も高く、次いで「25～29歳でしたいと考えている」が22.9%、「20～24歳でしたいと考えている」が14.7%となっており、約半数が「具体的にはまだ考えていない」となっている。一方、女児は「20～24歳でしたいと考えている」が29.1%と最も高く、次いで「25～29歳でしたいと考えている」が28.1%となっており、約6割が20代で結婚したいと考えている。（図6）

図6 子どもの性別にみた子ども自身が考える結婚に対する意識【第14回調査】



注:第14回調査の回答を得た者(男児15,190、女児14,316)を集計。

【第5回調査（平成22年出生児）】

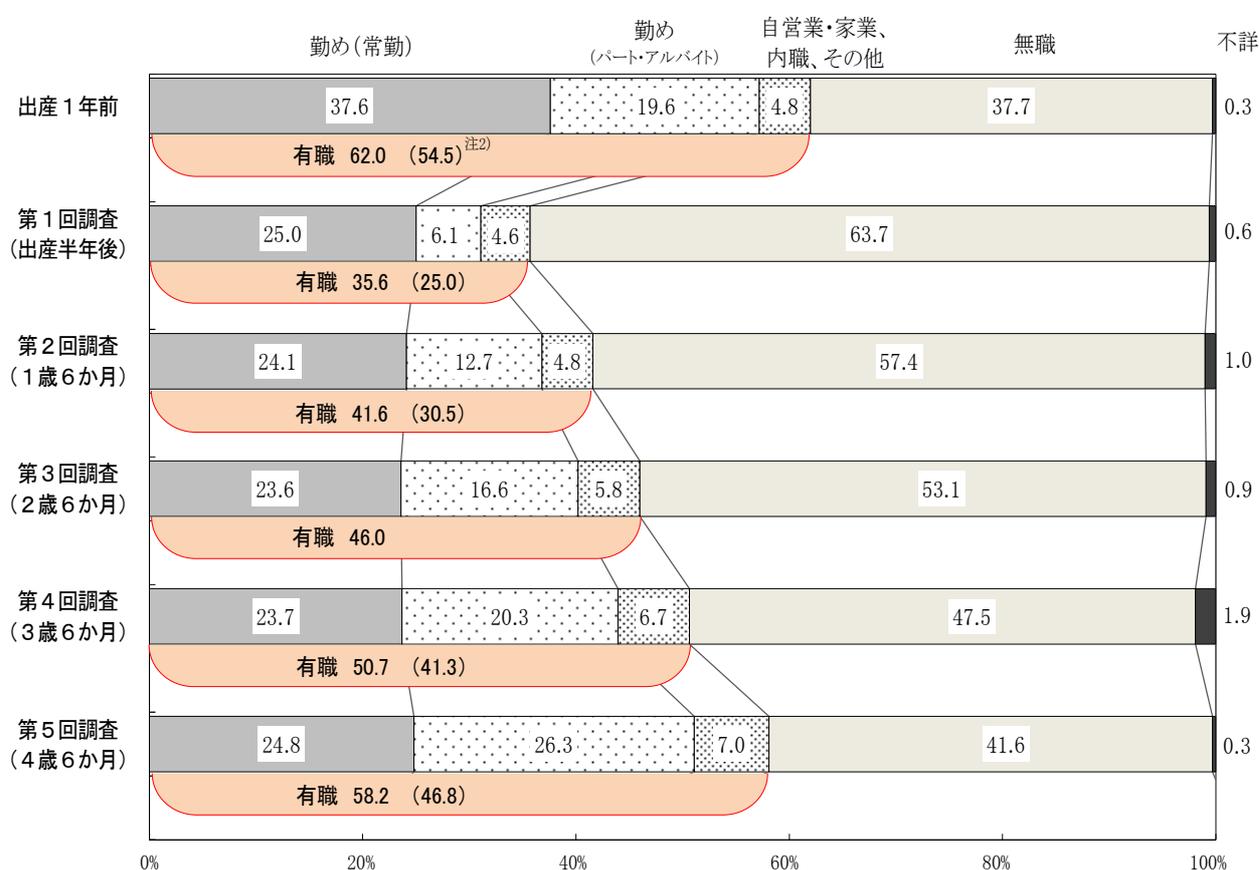
1 母の就業状況の変化

母が有職の割合は第5回調査（4歳6か月）で58.2%となり、平成13年調査（第5回）の46.8%に比べて11.4ポイント高い

母が有職の割合は、出産1年前の62.0%が第1回調査（出産半年後）で35.6%に減少したが、その後は年々増加し、第5回調査（4歳6か月）では58.2%となり、平成13年調査（第5回）の46.8%に比べて11.4ポイント高くなっている。

母の就業状況の変化をみると、「勤め（常勤）」の割合は、第1回調査（25.0%）から第5回調査（24.8%）まで大きな変化はないが、「勤め（パート・アルバイト）」の割合は、第1回調査（出産半年後）の6.1%から年々増加し、第5回調査では26.3%となっている。（図1）

図1 母の就業状況の変化・世代間比較



注：1) 平成22年調査の第1回調査から第5回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（総数 25,334）を集計。

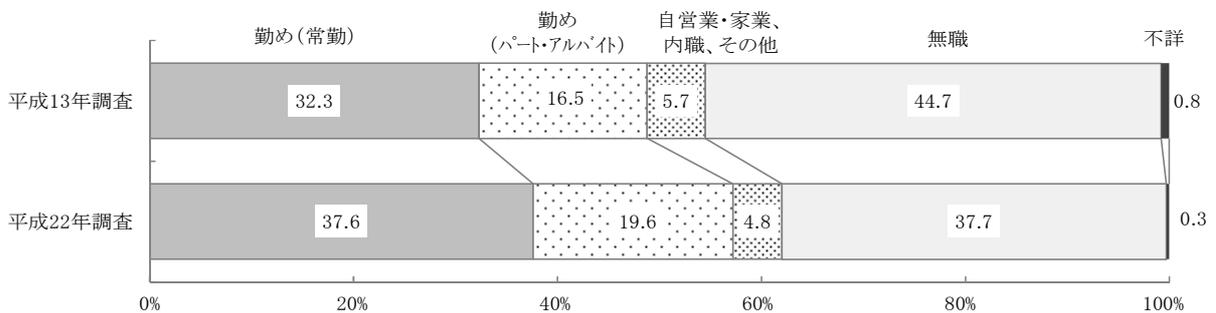
2) ()内の数値は、平成13年調査の第1回調査から第5回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（総数 37,380）を集計したものである。なお、平成13年調査の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母のうち、第1回調査から第5回調査まで継続して「勤め（常勤）」の母の割合は、平成22年調査では44.5%で、平成13年調査の32.7%に比べて11.8ポイント高い

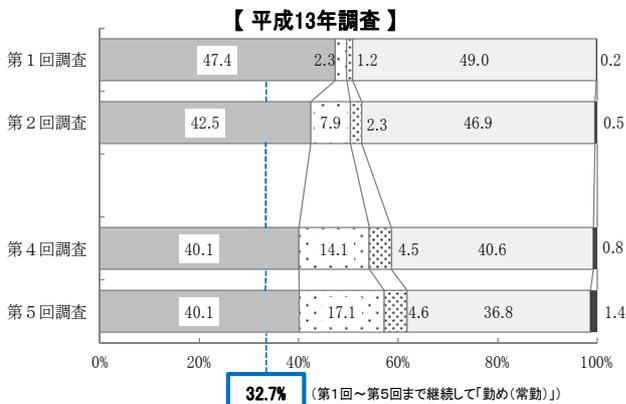
出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母について、第1回調査から第5回調査までの就業状況の変化をみると、平成22年調査の各回における「勤め（常勤）」の母の割合は平成13年調査よりも高い割合で推移し、さらに、第1回調査から第5回調査まで継続して「勤め（常勤）」の母の割合は平成22年調査では44.5%で、平成13年調査の32.7%に比べて11.8ポイント高くなっている（図2）。

図2 出産1年前の就業状況別にみた母の就業状況の変化・世代間比較

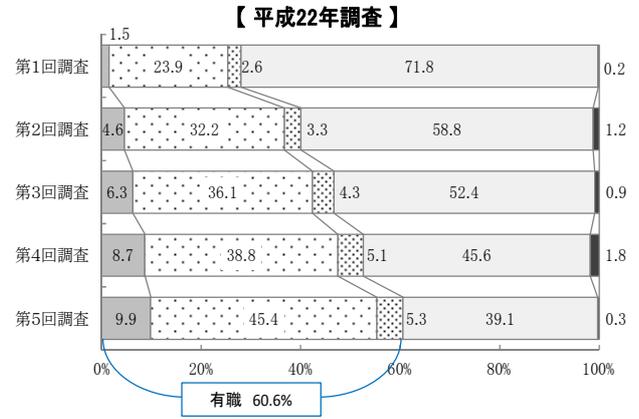
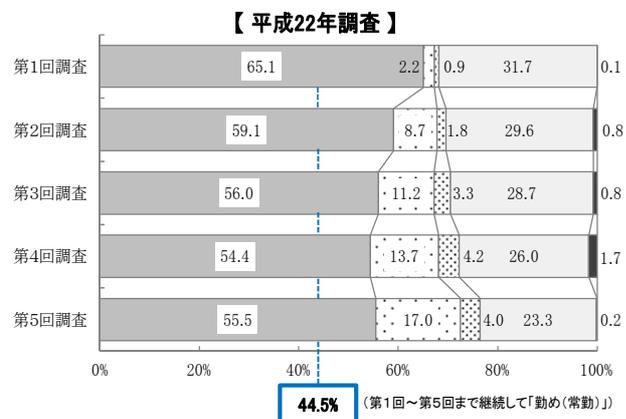
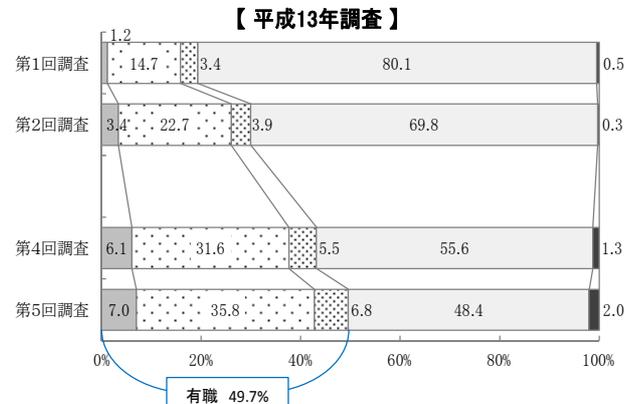
(1) 出産1年前の母の就業状況



(2) 出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母の就業状況の変化



(3) 出産1年前の就業状況が「勤め（パート・アルバイト）」の母の就業状況の変化



注：第1回調査から第5回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（平成13年調査総数37,380、出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」12,063、「勤め（パート・アルバイト）」6,180、平成22年調査総数25,334、出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」9,525、「勤め（パート・アルバイト）」4,961）を集計。なお、平成13年調査の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

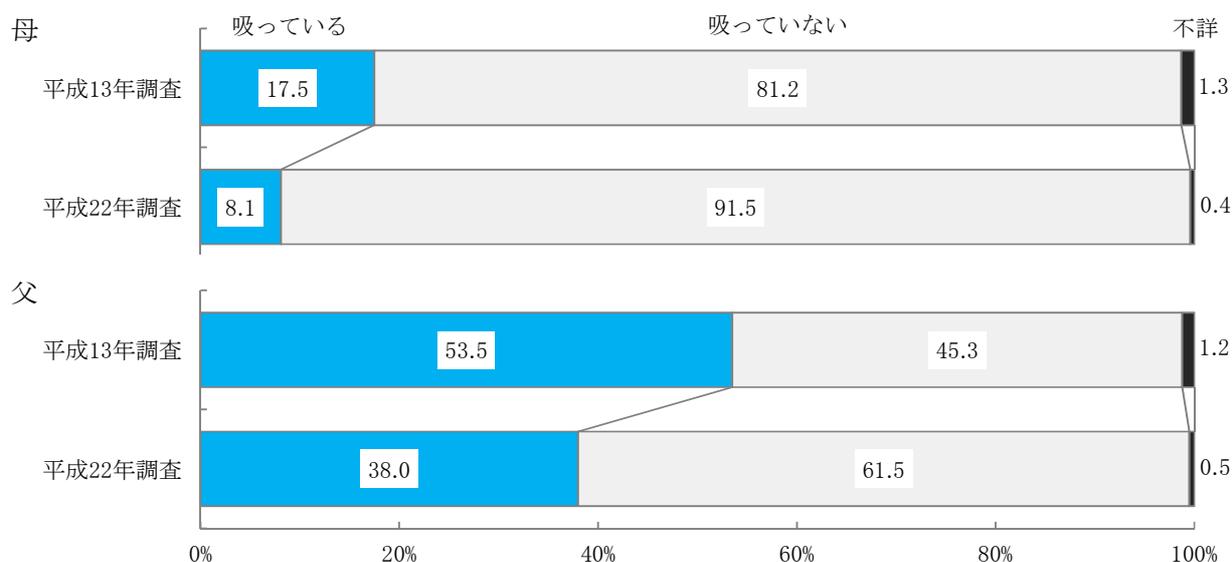
2 父母の喫煙状況

父母がたばこを「吸っている」割合は、平成13年調査（第5回）と比べて減少

父母の喫煙状況をみると、母がたばこを「吸っている」割合は8.1%で、平成13年調査（第5回）の17.5%より9.4ポイント低く、父が「吸っている」割合は38.0%で、平成13年調査（第5回）の53.5%より15.5ポイント低くなっている（図3）。

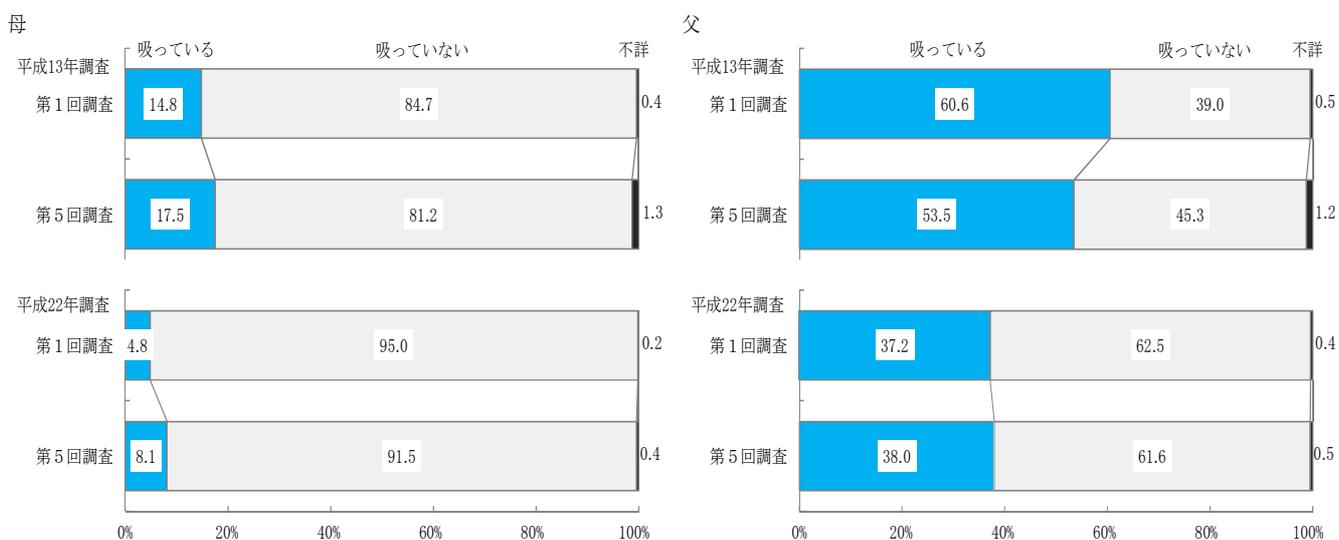
また、第1回調査と第5回調査を比較すると、母では平成13年調査及び平成22年調査ともに「吸っている」割合が増加し、父では平成13年調査では減少したのに対し、平成22年調査ではほぼ横ばいとなっている（図4）。

図3 母—父の喫煙状況の世代間比較【第5回調査】



注：母の喫煙状況は第5回調査で母と同居している者（平成13年調査総数39,518、平成22年調査総数28,077）を、父の喫煙状況は第5回調査で父と同居している者（平成13年調査総数37,590、平成22年調査総数26,895）を集計。

図4 母—父の喫煙状況の変化・世代間比較【第1回調査と第5回調査】



注：母の喫煙状況は第1回調査及び第5回調査で母と同居している者（平成13年調査総数39,506、平成22年調査総数28,067）を、父の喫煙状況は第1回調査及び第5回調査で父と同居している者（平成13年調査総数37,316、平成22年調査総数26,743）を集計。

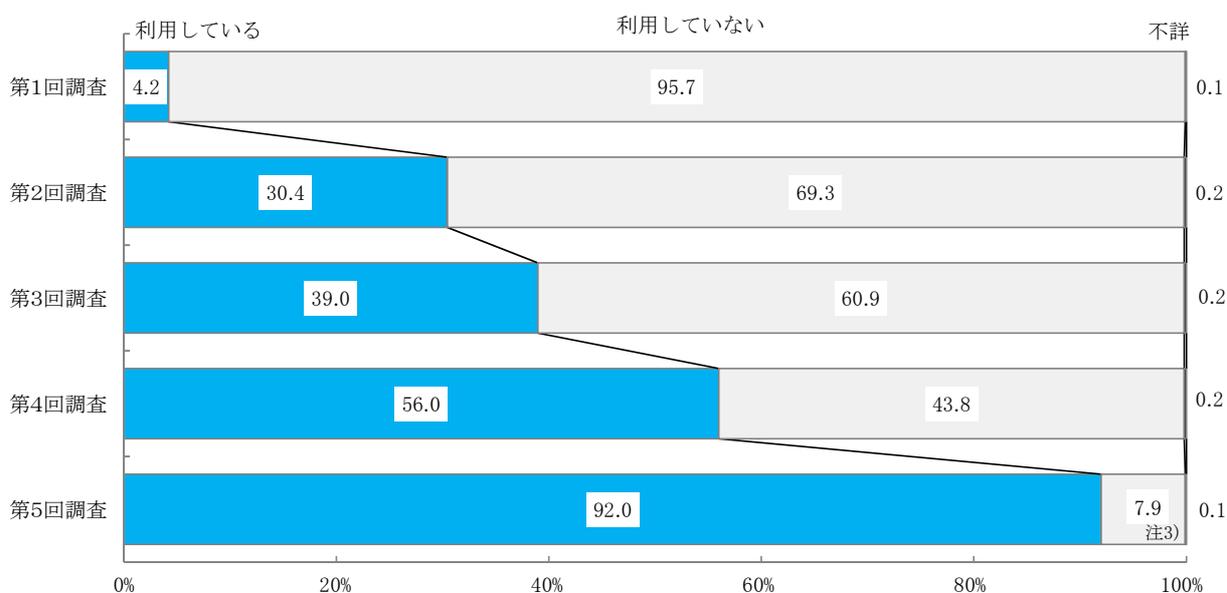
3 保育所等の利用状況

第5回調査で保育所、認定こども園、幼稚園等を「利用している」割合は92.0%

保育所、認定こども園、幼稚園等の利用状況の変化をみると、「利用している」割合は年々増加し、第4回調査では56.0%、第5回調査では92.0%となっている（図5）。

また、施設別に利用状況の変化をみると、第5回調査では「幼稚園」が増加している（図6）。

図5 保育所、認定こども園、幼稚園等の利用有無の変化

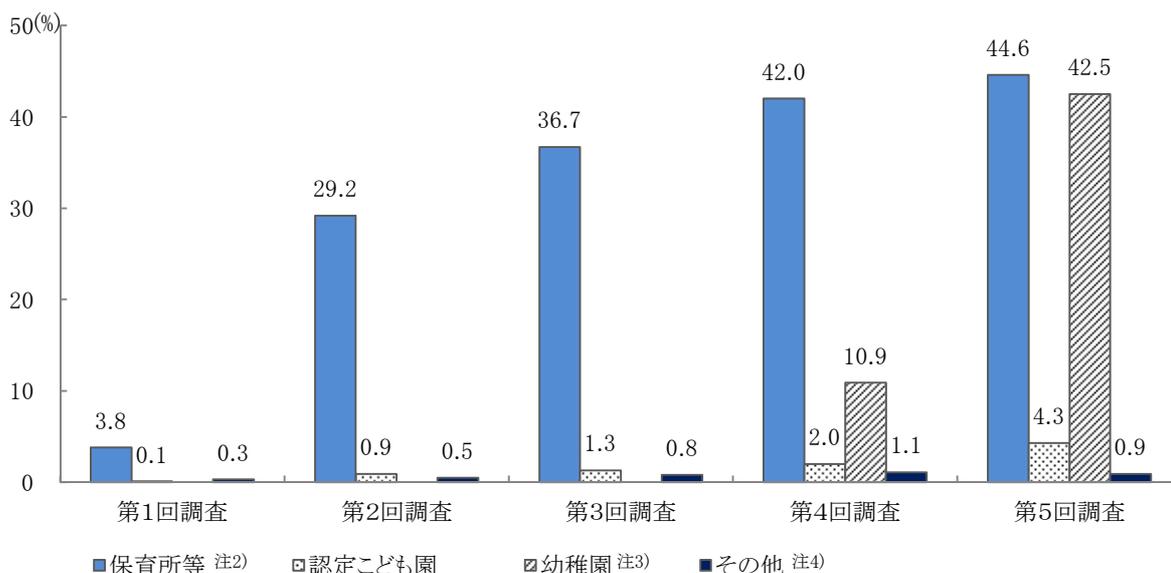


注：1) 第1回調査から第5回調査まですべて回答を得た者（総数 25,407）を集計。

2) 「保育所、認定こども園、幼稚園等」とは、「認可保育所（公立）」、「認可保育所（私立）」、「認定こども園」、「自治体独自の保育施設（認証保育所など）」、「事業所内（企業内）保育施設」、「認可外保育施設（事業所内（企業内）保育施設を除く）」、「家庭的保育（保育ママ）」、「ベビーシッター」、「幼稚園」（第4回調査以降）及び「その他」をいう。

3) 第5回調査の「利用していない」には、一時的に利用している者を含む。

図6 施設別にみた保育所、認定こども園、幼稚園等の利用状況の変化（複数回答）



注：1) 第1回調査から第5回調査まですべて回答を得た者（総数 25,407）を集計。

2) 「保育所等」は、「認可保育所（公立）」、「認可保育所（私立）」、「自治体独自の保育施設（認証保育所など）」、「事業所内（企業内）保育施設」、「認可外保育施設（事業所内（企業内）保育施設を除く）」及び「家庭的保育（保育ママ）」のうち、1つ以上利用した者を集計。

3) 「幼稚園」は第4回調査からの調査項目である。

4) 「その他」は、「ベビーシッター」及び「その他」のうち、1つ以上利用した者を集計。

統計表

【第14回調査（平成13年出生児）】

統計表1 母の就業状況の変化（5頁図1）

（単位：人）

調査回	就業状況	総数	勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業、内職、 その他	無職	不詳
出産1年前		24 265	7 957	3 849	1 348	10 938	173
第1回調査(出産半年後)		24 265	3 931	847	1 296	17 974	217
第2回調査		24 265	3 712	2 082	1 435	16 924	112
第4回調査		24 265	3 741	3 992	1 957	14 330	245
第5回調査		24 265	3 891	5 043	2 044	12 886	401
第6回調査		24 265	4 004	5 920	2 149	11 953	239
第7回調査		24 265	4 051	7 088	2 126	10 824	176
第8回調査		24 265	4 221	8 127	2 066	9 554	297
第9回調査		24 265	4 389	8 793	2 112	8 791	180
第10回調査		24 265	4 516	9 372	1 954	8 129	294
第11回調査		24 265	4 768	10 275	2 038	7 072	112
第12回調査		24 265	5 007	10 920	1 898	6 369	71
第13回調査		24 265	5 348	11 270	1 888	5 608	151
第14回調査		24 265	5 718	11 624	1 902	4 913	108

注：1)第1回調査から第14回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。

2)第3回調査は母の就業状況を調査していない。

統計表2 第13回調査の母の就業状況別にみた第14回調査の母の就業状況(6頁表1)

（単位：人）

第14回調査 (中学2年生)	第13回調査 (中学1年生)	総 数 2)	無 職	(再 掲)		有 職	勤 め (常 勤)	ア(勤 ルバ メ バ イ ト ・)	自 営 業 ・ 家 業	内 職	そ の 他
				い仕 る事 を 探 し て	い仕 な い を 探 し て						
総数 ²⁾		24 265	4 913	1 369	3 366	19 244	5 718	11 624	1 527	235	140
無職		5 608	4 159	967	3 055	1 427	126	1 111	110	55	25
(再掲)仕事を探している		1 615	833	557	254	774	92	633	26	16	7
仕事を探していない		3 784	3 176	385	2 708	594	20	443	77	38	16
有職		18 506	730	397	295	17 692	5 552	10 444	1 402	179	115
勤め(常勤)		5 348	90	60	24	5 229	4 911	248	56	-	14
勤め(パート・アルバイト)		11 270	513	301	188	10 715	584	9 992	90	21	28
自営業・家業		1 477	71	13	53	1 399	37	97	1 243	6	16
内職		276	40	15	22	234	3	72	5	150	4
その他		135	16	8	8	115	17	35	8	2	53

注：1)第1回調査から第14回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。

2)総数には、母の就業状況「不詳」を含む。

統計表3 きょうだい構成別にみた母の就業状況(6頁表2)

(単位:人)

母の就業状況 きょうだい構成 2)	総数 3)	無職	有職	就業状況				
				勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業	内職	その他
総数	29 022	5 812	23 070	7 012	13 774	1 856	263	165
ひとり(対象児本人のみ)	4 377	963	3 386	1 200	1 846	268	39	33
弟妹のみ	10 738	2 352	8 341	2 422	5 137	610	112	60
兄姉のみ	10 709	1 871	8 785	2 648	5 305	699	77	56
兄弟姉妹あり	3 198	626	2 558	742	1 486	279	35	16

注: 1)第14回調査の回答を得た者のうち、「母と同居」の者を集計。

2)きょうだい構成は、調査対象児と同居している兄弟姉妹の構成をいう。

3)総数には、母の就業状況「不詳」を含む。

統計表4 子どもの性別にみた母、父との会話の状況(7頁図2)

(単位:人)

会話の内容 性別		総数	母との会話														
			学校のできごとについて					友だちのことについて					将来や進路のことについて				
			よくする	ときどきする	あまりしない	まったくしない	不詳	よくする	ときどきする	あまりしない	まったくしない	不詳	よくする	ときどきする	あまりしない	まったくしない	不詳
総数	29 022	13 662	10 380	3 923	959	98	11 413	11 043	5 178	1 197	191	5 363	11 257	9 535	2 652	215	
男児	14 922	5 201	6 202	2 723	740	56	4 147	6 289	3 491	889	106	2 266	5 512	5 285	1 742	117	
女児	14 100	8 461	4 178	1 200	219	42	7 266	4 754	1 687	308	85	3 097	5 745	4 250	910	98	
会話の内容 性別		総数	勉強や成績のことについて					社会のできごとやニュースについて									
			よくする	ときどきする	あまりしない	まったくしない	不詳	よくする	ときどきする	あまりしない	まったくしない	不詳					
			9 121	12 738	5 693	1 276	194	4 847	10 348	9 713	3 898	216					
男児	4 180	6 528	3 259	854	101	2 405	5 371	4 856	2 177	113							
女児	4 941	6 210	2 434	422	93	2 442	4 977	4 857	1 721	103							
会話の内容 性別		総数	父との会話														
			学校のできごとについて					友だちのことについて					将来や進路のことについて				
			よくする	ときどきする	あまりしない	まったくしない	不詳	よくする	ときどきする	あまりしない	まったくしない	不詳	よくする	ときどきする	あまりしない	まったくしない	不詳
総数	26 150	3 835	8 489	9 211	4 167	448	2 862	7 206	10 263	5 301	518	2 727	7 575	10 087	5 230	531	
男児	13 519	1 787	4 313	4 913	2 231	275	1 382	3 889	5 318	2 618	312	1 499	4 021	5 083	2 606	310	
女児	12 631	2 048	4 176	4 298	1 936	173	1 480	3 317	4 945	2 683	206	1 228	3 554	5 004	2 624	221	
会話の内容 性別		総数	勉強や成績のことについて					社会のできごとやニュースについて									
			よくする	ときどきする	あまりしない	まったくしない	不詳	よくする	ときどきする	あまりしない	まったくしない	不詳					
			4 275	9 367	8 367	3 618	523	3 429	7 488	9 174	5 534	525					
男児	2 242	4 815	4 335	1 817	310	1 882	3 894	4 644	2 778	321							
女児	2 033	4 552	4 032	1 801	213	1 547	3 594	4 530	2 756	204							

注: 第14回調査の回答を得た者のうち、母・父と同居している者を集計。

統計表5 子どもの性別にみた子どもが思う悩みや不安の有無の変化(8頁図3)

(単位:人)

調査回・性別	総数	悩みや不安がある	悩みや不安は特 にない	不詳
第13回調査(中学1年生)				
総数	28 311	10 200	17 310	801
男児	14 585	4 212	9 916	457
女児	13 726	5 988	7 394	344
第14回調査(中学2年生)				
総数	28 311	11 766	15 732	813
男児	14 585	4 721	9 381	483
女児	13 726	7 045	6 351	330

注: 第13回調査と第14回調査の回答を得た者を集計。

統計表6 子どもの性別にみた子どもが思う悩みや不安の種類の変化(複数回答)(9頁図4)

(単位:人)

悩みや不安 調査回・性別	総数	子ども自身の悩みや不安(複数回答)																
		学校や塾の成績に関すること	進路に関すること	部活動(クラブ活動を含む)でのトラブルに関すること	自分の容姿に関すること	友達との関係に関すること(友達ができない、友達の入れないなど)	親の期待や要求が高すぎること	恋愛に関すること	何かにつけ兄弟姉妹と比べられること	親がなにかと干渉してくること	健康(病气)に関すること	親の仲が悪いこと	自分と家族の仲が悪いこと	いじめに関すること	性に関すること	その他		
第13回調査 (中学1年生)																		
総数	28 311	5 841	3 376	1 936	1 789	2 226	1 382	1 129	1 440	1 151	1 114	517	421	656	186	423		
男児	14 585	2 314	1 378	589	432	630	679	274	556	595	489	218	179	335	57	174		
女児	13 726	3 527	1 998	1 347	1 357	1 596	703	855	884	556	625	299	242	321	129	249		
第14回調査 (中学2年生)																		
総数	28 311	6 858	6 369	2 592	2 387	2 275	1 529	1 444	1 364	1 358	1 272	614	527	473	212	596		
男児	14 585	2 533	2 361	695	527	572	749	419	542	721	534	259	222	224	87	234		
女児	13 726	4 325	4 008	1 897	1 860	1 703	780	1 025	822	637	738	355	305	249	125	362		

注:第13回調査と第14回調査の回答を得た者を集計。

統計表7 子どもの性別にみた子ども自身が考える進路に対する意識(10頁図5)

(単位:人)

子ども自身が考える 進路の意識 性別	総数	中学卒業後に働くことを考えている	中学卒業後は専門学校・各種学校へ進み、その後、働くことを考えている	高校卒業後に働くことを考えている	高校卒業後は専門学校・各種学校へ進み、その後、働くことを考えている	大学卒業後に働くことを考えている	具体的にはまだ考えていない	不詳
総数	29 506	139	649	3 824	4 055	12 225	8 350	264
男児	15 190	80	323	2 358	1 204	6 363	4 723	139
女児	14 316	59	326	1 466	2 851	5 862	3 627	125

注:第14回調査の回答を得た者を集計。

統計表8 子どもの性別にみた子ども自身が考える結婚に対する意識(10頁図6)

(単位:人)

子ども自身が考える 結婚の意識 性別	総数	10代のうちにしたいと考えている	20~24歳でしたいと考えている	25~29歳でしたいと考えている	30~34歳でしたいと考えている	35~39歳でしたいと考えている	40歳以降でしたいと考えている	結婚はしたいが時期は考えていない	結婚はしたくない	具体的にはまだ考えていない	不詳
総数	29 506	120	6 393	7 501	751	42	9	2 322	1 184	10 878	306
男児	15 190	38	2 228	3 480	542	37	7	1 169	552	6 955	182
女児	14 316	82	4 165	4 021	209	5	2	1 153	632	3 923	124

注:第14回調査の回答を得た者を集計。

【第5回調査（平成22年出生児）】

統計表1 母の就業状況の変化・世代間比較（11頁図1）

（単位：人）

調査回	就業状況	平成22年調査					平成13年調査		
		総数	勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業、内職、 その他	無職	不詳	総数	有職
出産1年前		25 334	9 525	4 961	1 213	9 547	88	37 380	20 364
第1回調査(出産半年後)		25 334	6 325	1 541	1 157	16 149	162	37 380	9 352
第2回調査		25 334	6 113	3 214	1 221	14 533	253	37 380	11 400
第3回調査		25 334	5 982	4 210	1 468	13 458	216	37 380	・
第4回調査		25 334	5 999	5 140	1 699	12 026	470	37 380	15 455
第5回調査		25 334	6 280	6 674	1 783	10 527	70	37 380	17 486

注：第1回調査から第5回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。
なお、平成13年調査の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

統計表2 出産1年前の就業状況別にみた母の就業状況の変化・世代間比較（12頁図2）

（単位：人）

	総数	勤め (常勤)	勤め(パート・ アルバイト)	自営業・家業、 内職、その他	無職	不詳	(再掲) 第1回調査から 第5回調査まで 継続して「勤め (常勤)」の母
(1) 出産1年前の母の就業状況							
平成13年調査	37 380	12 063	6 180	2 121	16 726	290	
平成22年調査	25 334	9 525	4 961	1 213	9 547	88	
(2) 出産1年前の就業状況が「勤め(常勤)」の母の就業状況の変化							
平成13年調査							
第1回調査	12 063	5 721	272	140	5 906	24	・
第2回調査	12 063	5 125	956	275	5 652	55	・
第4回調査	12 063	4 832	1 696	538	4 899	98	・
第5回調査	12 063	4 832	2 066	553	4 445	167	3 945
平成22年調査							
第1回調査	9 525	6 199	214	82	3 023	7	・
第2回調査	9 525	5 629	832	170	2 821	73	・
第3回調査	9 525	5 337	1 069	317	2 730	72	・
第4回調査	9 525	5 177	1 304	400	2 480	164	・
第5回調査	9 525	5 285	1 621	385	2 217	17	4 235
(3) 出産1年前の就業状況が「勤め(パート・アルバイト)」の母の就業状況の変化							
平成13年調査							
第1回調査	6 180	77	910	213	4 948	32	
第2回調査	6 180	208	1 404	238	4 312	18	
第4回調査	6 180	374	1 953	341	3 433	79	
第5回調査	6 180	433	2 215	422	2 989	121	
平成22年調査							
第1回調査	4 961	74	1 186	128	3 562	11	
第2回調査	4 961	226	1 595	165	2 917	58	
第3回調査	4 961	313	1 789	214	2 599	46	
第4回調査	4 961	430	1 925	254	2 264	88	
第5回調査	4 961	491	2 250	264	1 941	15	

注：第1回調査から第5回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。
なお、平成13年調査の第3回調査では、母の就業状況を調査していない。

統計表3 母一父の喫煙状況の世代間比較【第5回調査】(13頁図3)

(単位:人)

		総数	吸っている	吸っていない	不詳
母	平成13年調査	39 518	6 900	32 089	529
	平成22年調査	28 077	2 282	25 686	109
父	平成13年調査	37 590	20 118	17 012	460
	平成22年調査	26 895	10 216	16 549	130

注:母の喫煙状況は第5回調査で母と同居している者を、父の喫煙状況は第5回調査で父と同居している者を集計。

統計表4 母一父の喫煙状況の変化・世代間比較【第1回調査と第5回調査】(13頁図4)

(単位:人)

			総数	吸っている	吸っていない	不詳
母	平成13年調査	第1回調査	39 506	5 854	33 476	176
		第5回調査	39 506	6 895	32 082	529
	平成22年調査	第1回調査	28 067	1 337	26 667	63
		第5回調査	28 067	2 282	25 677	108
父	平成13年調査	第1回調査	37 316	22 596	14 539	181
		第5回調査	37 316	19 960	16 899	457
	平成22年調査	第1回調査	26 743	9 943	16 703	97
		第5回調査	26 743	10 150	16 467	126

注:母の喫煙状況は第1回調査及び第5回調査で母と同居している者を、父の喫煙状況は第1回調査及び第5回調査で父と同居している者を集計。

統計表5 保育所、認定こども園、幼稚園等の利用状況の変化(14頁図5・図6)

(単位:人)

	総数	利用している	利用している施設(複数回答)				利用していない	不詳
			保育所等 注3)	認定こども園	幼稚園 注4)	その他 注5)		
			第1回調査	25 407	1 061	970		
第2回調査	25 407	7 736	7 414	219	129	17 618	53	
第3回調査	25 407	9 899	9 336	337	200	15 462	46	
第4回調査	25 407	14 228	10 667	517	2 764	285	11 126	53
第5回調査	25 407	23 376	11 340	1 091	10 786	217	2 014 ^{注6)}	17

注:1)第1回調査から第5回調査まですべて回答を得た者を集計。

2)「保育所、認定こども園、幼稚園等」とは、「認可保育所(公立)」、「認可保育所(私立)」、「認定こども園」、「自治体独自の保育施設(認証保育所など)」、「事業所内(企業内)保育施設」、「認可外保育施設(事業所内(企業内)保育施設を除く)」、「家庭的保育(保育ママ)」、「ベビーシッター」、「幼稚園」(第4回調査以降)及び「その他」をいう。

3)「保育所等」は、「認可保育所(公立)」、「認可保育所(私立)」、「自治体独自の保育施設(認証保育所など)」、「事業所内(企業内)保育施設」、「認可外保育施設(事業所内(企業内)保育施設を除く)」及び「家庭的保育(保育ママ)」のうち、1つ以上利用した者を集計。

4)「幼稚園」は第4回調査からの調査項目である。

5)「その他」は、「ベビーシッター」及び「その他」のうち、1つ以上利用した者を集計。

6)第5回調査の「利用していない」には、一時的に利用している者を含む。

用語の定義

(1) 同居者

同居者には次のものは含まない。

- ① 長期（概ね3か月以上）にわたって不在にしている者
- ② 現在不在で不在期間が長期にわたることがわかっている者
ただし、①、②の者で途中定期的に帰宅する者は同居者としている。

(2) きょうだい構成

調査対象児と同居している兄弟姉妹の構成であり、調査対象児が双子、三つ子の場合、他にきょうだいがいなければきょうだい「兄弟のみ」としている。

年齢不詳のきょうだいがいる場合、第1回調査時からいるきょうだいは、「兄弟」としている。

ひとり	調査対象児本人のみ
弟妹のみ	調査対象児のほかに弟や妹がいる
兄弟のみ	調査対象児のほかに兄や姉がいる
兄弟姉妹あり	調査対象児のほかに兄や姉と弟や妹がいる

(3) 就業状況

「有職」

勤め（常勤）、勤め（パート・アルバイト）、自営業・家業、内職、その他を合わせたもの
育児休業中等の休業を含む。

「勤め（常勤）」

事業所の所定労働時間を通じて勤務する者

「勤め（パート・アルバイト）」

同一事業所の一般の労働者より1日の所定労働時間が短い又は1日の所定労働時間が同じでも1週の所定労働日数が少ない者

「無職」

家事（専業）、無職、学生を合わせたもの